



2023年5月11日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 U A C J
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員 石 原 美 幸
(コード番号 5741 東証プライム)
問 合 せ 先 財 務 本 部 経 理 部 長 橋 本 篤 司
(TEL 03-6202-2600 (代))

配当政策の一部変更（中間配当の実施）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、配当政策の一部変更について下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 配当政策の一部変更

(1) 変更の内容

[変更前]

当社は、株主の皆様に対する配当の実施を利益還元の重要な施策と考えております。その実施につきましても、安定的かつ継続的に実施していくことを基本方針としながら、業績の動向、安定的な事業運営のための維持更新や、企業価値向上並びに成長のための戦略・環境等の競争力強化と研究開発への投資、強固な財務基盤の構築などを総合的に勘案して判断してまいります。

配当の実施については、当社は年間を通じての事業管理を実施しており、通期での利益に応じた機動的な株主還元の観点から、期末配当への一本化を基本方針としております。長期的には総還元性向30%以上を目標としますが、業績の動向に応じた利益配分については、第3次中期経営計画<2021年度～2023年度>の期間中は、通期の利益に対して連結配当性向20～30%を目安とすることといたします。

[変更後]

当社は、株主の皆様に対する配当の実施を利益還元の重要な施策と考えております。その実施につきましても、安定的かつ継続的に実施していくことを基本方針としながら、業績の動向、安定的な事業運営のための維持更新や、企業価値向上並びに成長のための戦略・環境等の競争力強化と研究開発への投資、強固な財務基盤の構築などを総合的に勘案して判断してまいります。

配当の実施については、中間配当と期末配当の年2回実施を基本方針としております。長期的には総還元性向30%以上を目標としますが、業績の動向に応じた利益配分については、第3次中期経営計画<2021年度～2023年度>の期間中は、通期の利益に対して連結配当性向20～30%を目安とすることといたします。

(2) 変更の理由

当社は、株主の皆様への配当の実施を利益還元の重要な施策と考えており、当期の業績、連結配当性向および企業価値向上のための諸施策等を総合的に勘案し、継続的かつ安定的に実施することを基本方針としております。

第2次中期経営計画<2018年度~2020年度>の策定時点においては、タイ王国や米国における生産能力増強や国内における自動車材対応を中心とした企業価値向上のための投資にキャッシュフローを優先して配分する計画であったことから、配当水準をより明確化する目的で期末一本化へと変更いたしました。なお、足元において、当初予定していた投資が完了し、また、2019年度から取り組んできた構造改革により収益基盤が強化され収益力が安定してきたこと、UACJ発足10年の節目を迎えることから、2024年3月期より中間配当と期末配当の年2回実施とするため、配当政策の一部変更を行うものであります。

なお、当社は取締役会の決議によって毎年9月30日を基準日として、中間配当を行うことができる旨を定款に定めております。

2. 2024年3月期（2023年4月1日~2024年3月31日）配当予想

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
今回予想 (2023年5月11日公表)	40.00	45.00	85.00
前期実績 (2023年3月期)	—	85.00	85.00

以上